

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【公表番号】特表2014-508667(P2014-508667A)

【公表日】平成26年4月10日(2014.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2014-018

【出願番号】特願2013-549815(P2013-549815)

【国際特許分類】

B 2 9 C 43/52 (2006.01)

B 2 9 C 43/24 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 43/52

B 2 9 C 43/24

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年2月25日(2015.2.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも第 1 の加熱面 (1) と第 2 の加熱面 (2) とを備えた、シート (6) の加熱装置 (3) であって、

前記第 1 の加熱面および第 2 の加熱面 (1、2) は、第 1 の加熱面および第 2 の加熱面 (1、2) が互いに重なるように配置され、第 1 の加熱面と第 2 の加熱面 (1、2) との間に少なくとも二つのガイドエレメント (4) が配置され、第 1 の加熱面および / または第 2 の加熱面 (1、2) の少なくとも一端は尖形状である、加熱装置 (3) 。

【請求項 2】

少なくとも一つのガイドエレメント (4) は、前記第 1 の加熱面および / または第 2 の加熱面 (1、2) の全長にわたる、請求項 1 に記載の加熱装置 (3) 。

【請求項 3】

前記第 1 の加熱面 (1) および / または前記第 2 の加熱面 (2) は、平坦面を有する、請求項 1 または 2 に記載の加熱装置 (3) 。

【請求項 4】

少なくとも一つのガイドエレメント (4) は加熱可能である、請求項 1 から 3 いずれか記載の加熱装置 (3) 。

【請求項 5】

前記第 1 の加熱面 (1) は、異なった部分の温度差が、加熱面 (1) の幅にわたって、0.5 ~ 6 より小さい、請求項 1 から 4 いずれか記載の加熱装置 (3) 。

【請求項 6】

前記第 1 の加熱面 (1) は、異なった部分の温度差が、前記加熱面 (1) の長さにわたって、0.5 ~ 6 より小さい、請求項 1 から 5 いずれか記載の加熱装置 (3) 。

【請求項 7】

前記第 2 の加熱面 (2) は、異なった部分の温度差が、0.5 ~ 6 より小さい、請求項 1 から 6 いずれか記載の加熱装置 (3) 。

【請求項 8】

前記第 1 の加熱面 (1) と前記第 2 の加熱面 (2) との温度差は、0.5 ~ 6 より小

さい、請求項 1 から 7 いずれか記載の加熱装置 (3)。

【請求項 9】

前記加熱装置 (3) 内では、大気圧、重力、および張力のみがシート (6) に作用する、請求項 1 から 8 いずれか記載の加熱装置 (3)。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の加熱装置 (3) を備えるシートの製造装置であって、
前記製造装置は、一对のカレンダーロール (5) を備え、
前記第 1 の加熱面および / または第 2 の加熱面 (1、2) は、前記尖形状が前記カレンダーロール (5) に対向するように配置される、製造装置。

【請求項 11】

前記尖形状の端部と前記カレンダーロール (5) との距離は、前記カレンダーロールの直径の 2 ~ 10 % である、請求項 10 に記載の製造装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

好ましくは、少なくとも一つのガイドエレメントは、第 1 および / または第 2 の加熱面の少なくとも一つの寸法全体にわたる。ここで、ガイドエレメントが少なくとも一つの寸法全体にわたるとは、ガイドエレメントが、少なくとも一方の加熱面の全長にわたる場合、または少なくとも一方の加熱面の全幅にわたる場合を意味する。ガイドエレメントの両方が、両方の加熱面の全長 (好ましくは同じ長さを有する) にわたることが好ましい。